



## National Institute of Technology, Toyama College

02 校長・副校長ごあいさつ

03 富山高専ヘッドライン「平成27年度入学式」

04 新入生を迎えて

06 新入生の声

08 専攻科レポート

10 学生会活動

12 学生寮から

14 新任教員紹介/学級担任一覧

15 News & Topics / 編集後記

16 OPEN CAMPUS / 学年暦



校長  
石原 外美



## 知ることの楽しさ!

新年度を迎え、2カ月経ちました。学生諸君はいかがお過ごしでしょうか？

さて、先日の日曜日、自宅で「日本百名山」というテレビ番組を見ていました。その日は甲武信ヶ岳(標高2,475m)の登山を取り上げていました。その登山の途中で信濃川(千曲川)の源流を訪ねるくだりがありました。

信濃川は、長野県から新潟県を経て日本海に下る大河で、総延長367km、日本で最も長い川として有名です。その大河の水源が、なんと、標高2,160mにあるブナの木の本元にある、水が染み出している場所なのです。川幅が広いところで1,000mを超える大河であっても、その始まりは、水がちよろちよろと湧き出す場所なのです。正直言って驚きでした。

自動車メーカーとして有名なホンダも、約70年前の1946年、自転車の補助動力エンジンの開発から出発しました。それが今や、自動車、ロボット(アシモ)、それからホンダジェットと呼ばれるジェット機まで製造する世界を代表する大企業まで成長しています。

人も、成長段階において、知らないことに触れ、それらに触発・刺激され、そして、未知なるものを自分で調べ、それと直接的に関わることによって、信濃川のように大きく成長していくものです。

「知ることの楽しさ」を、ぜひ富山高専で体験してください。それが諸君の成長への第一歩です。グッドラック!

本郷キャンパス  
副校長  
西田 均



## 多くの経験や 体験を

新入生と在在学生には新たな気持ちで、夢や目標に向かって、怠けずコツコツ努力することを希望しています。高専時代は人生や職業生活のベースを作る重要な時期です。学生の皆さんには、そのための工夫と努力を期待しています。

新1年生には授業や課外活動から、興味や関心のあることを見つけ、とことん追求してほしいと思います。また、2、3年生にはいろいろなことを経験しながら、卒業後の進路を考えてほしいと思っています。学生の皆さんには、なるべく多くの体験や経験を積むことで、「知識と経験の引き出し」をしっかりと創り上げてほしいと願っています。進路の選択や難問題に出くわしたとき、あるいは、新たなものを開発するとき、この引き出しはその方策や解決に必ず役立ちます。失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジして、しっかり取組むことを期待しています。

私達教職員は皆さんが多くの経験や体験ができるように努力してまいります。保護者の皆様にはこのような学生を温かく見守りご支援くださいますようお願いいたします。

射水キャンパス  
副校長  
新開 純子



## 考える力

本校の教育目標の1つに、「自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成」があります。自ら考えることができるようになるためには、どうすればよいのだろうか。まずは、ただ知識を詰め込み、その知識をそのまま使うだけの受け身の学びをやめ、「なぜ」「どうして」という疑問をもって授業や実験実習に臨むことです。

高専は実験実習を重視しています。実験をして理論的に学んだことを確認することや、失敗して、なぜ失敗したのかを調べる、考えるという学びを1年生から行います。実験実習後に提出するレポートでは、事実と意見を明確に区別するように指導されます。事実と意見を区別することは、自分の考えの正しさを論理的に組み立てることにつながります。

高専は自ら能動的に学ぶところです。富山高専で知識や技術力を身につけ、さらに柔軟に考え続ける力を磨き、自ら考え、判断して行動できる人間力をつけてください。

# Entrance Ceremony

平成27年度

## 入学式



## 平成27年度入学式 新入生336名が晴れやかな笑顔で

平成27年4月6日(月)、平成27年度入学式がオーバード・ホールにおいて挙行されました。厳しい受験勉強を突破した本科新入生290名は紺色の制服に身を包み、晴れやかな笑顔で富山高専での一歩を踏み出しました。専攻科新入生42名、外国人留学生4名を含む336名は、名前が一人ずつ読み上げられ、石原外美校長から入学許可が宣言されました。石原校長から「希望と期待で胸がわくわくしていることと思います。どうか、その初心を忘れずに、勉学に励んでください。時には思うようにいかず辛い時期があるかもしれませんが、楽しく充実した高

専生活を送ってください」と式辞が述べられました。続いて新入生を代表し、商船学科の磯部文さんが、「専門的な知識と広い視野を持ち、世界で活躍できる社会人になるために、日々努力をしています」と、またエコデザイン工学専攻の志鷹哲哉さんが、「基礎学力を深めると同時に、技術者・専門家に必要な研究・開発の能力を向上させ、さらには社会人として必要な倫理観やグローバルな視野を身につけ、社会に貢献できる人材になれるよう、精一杯研究に励み経験を積みたい」とそれぞれ力強く誓いの言葉を述べました。

### 平成27年度新入生数

本科新入生	290名
機械システム工学科	45名
電気制御システム工学科	50名
物質化学工学科	48名
電子情報工学科	54名
国際ビジネス学科	52名
商船学科	41名
外国人留学生(3年次編入)	4名
専攻科新入生	42名
エコデザイン工学専攻	25名
制御情報システム工学専攻	11名
国際ビジネス学専攻	6名



商船学科  
磯部文さん



エコデザイン工学専攻  
志鷹哲哉さん



留学生

## 新入生を迎えて

# Welcome to Toyama Kosen!!

本郷キャンパス

1学年主任

津森 展子



### 手をたずさえる友達を

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。とはいえ、この高専通信が皆さんの手元に届くころには、もう夏休みの計画でわくわくしている頃でしょう。高専に入学して4カ月、高専生活はいかがですか？もう定期試験も経験してレポートに追われ、楽しさだけでなく厳しさや辛さも経験していることでしょう。中にはそれに耐えきれなくて別の道に行く人もいます。でも皆さんには同じ道を歩むたくさんの級友がいます。5年間ともに助け合い、励まし合う仲間です。まだしゃべったことのないクラスメイトがいたら、できるだけ早く話しかけてください。クラスの絆は将来までの宝です。卒業の時に「ああ楽しかったね」と笑い合えるよう、手をたずさえて辛いこと、苦しいことを乗り越えていってください。

本郷キャンパス

機械システム工学科  
1年担任

仁木 康浩



### 新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。この高専通信が発行される頃には、高専生活に慣れてきた頃だと思います。しかし、慣れてきた今だからこそ、気を引き締め直し、入学当初の想いを思い返し、自身の目標に向けて、日々の生活を送るようにしてほしいと思います。高等専門学校は、教えられて成長する「教育」ではなく、自ら考え試行し探究する「学問」の学校です。授業内容が難しいと感じていると思いますが、90分授業の中で、多くの新しい内容と新しい専門教科を学ぶからです。新しいことを身につけるには、多くの時間を費やさなければなりません。周りの先生方や先輩、クラスの仲間たちと共に協力していけば、難くこなせると思います。また、高専は5年間教育のため、今までよりも長く感じると思いますが、充実した日々を送ることができるので、あつという間の高専生生活になることでしょう。高専生生活5年間の1分1秒を無駄にせず、充実した日々を過ごしてください。

本郷キャンパス

電気制御システム工学科  
1年担任

長谷川 貴之



### 新入学生の諸君へ

新入学生の諸君、保護者の皆様、ようこそ富山高等専門学校へ。私は、5年前のこの時期も、電気制御システム工学科1年生クラスの担任を受け持ちました。富山高等専門学校の電気制御システム工学科第1期生でした。そのときの学生はこの3月に卒業していきましたが、彼らは例外なく、高専生活5年の間に大きく成長しました。入学当初と比べて、たくましくなりました（今私の目の前にいる新入学生諸君も、きっと5年後には立派になって卒業していくのでしょう）。新入学生の諸君には、決して諦めず、怪我や病気にめげず、卒業までたどり着いてほしいと願っております。そのためのサポートを試みるのが私たち教員団の仕事です。遠慮なく相談してくださいね。

本郷キャンパス

物質化学工学科  
1年担任

小川 典子



### 新しく「学生」になったみなさんへ

この春、みなさんは「生徒」から「学生」になりました。この高専通信を読む頃には、それが単なる呼ばれ方の変化ではないことを多少なりとも実感していることと思います。「学生」に求められる、「自ら考えて行動する」というのは簡単なことではありません。目の前にあることだけでなく、先のことにも目を向けることが必要となってきます。中学よりも格段に難しくなった授業についていくため、今は日々勉強に追われて先のことを考える余裕がないかもしれません。慌てる必要はありませんが、自ら考えて行動することが期待されているのだということを常に忘れず、1日1日を大切に過ごしてください。これからみなさんが学生としてどのように成長していくのか、担任としてみなさんの傍らで見守っていきたくと思います。

射水キャンパス

1学年主任  
河合 均



## 出会い

何年教員をやっても驚かされるのは、必ずなにかから新しい経験をさせられることです。もう、本校に勤務して20年以上になります。学生の行動に関しては大体のことを経験したと思うのですが、それでも新しい驚きを感じることは少なくありません。改めて人間の多様性を思い知らされています。

1年生の皆さんも、一人ひとりいろいろな思いをもって入学してこられたと思います。これからの5年間をこの学校で過ごすなかで、いろいろな学生、教員に出会うこととなります。自分と異なる考え、価値観を持った人と出会うことで、自分に対する理解が深まり、自分の適性や特徴を把握できるようになるのではないかと思います。この学校での出会いを大切にしてください。

射水キャンパス

電子情報工学科  
1年担任  
大橋 千里



## 夢を現実に

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。富山高専に入学し、毎日が新しい発見の連続ではないでしょうか。ところで、皆さんは夢を持っていますか？長い人生において、私たちが住む社会に一人ひとりが貢献するために、自分のスキルや経験をどう生かしていけるかという点こそが、人生における究極のテーマだと思います。皆さんにとって、この高専での5年間は、その大きな人生のテーマに合った生き方や職業を模索し、選択していく大切な時期となります。人は夢や目標があって初めて行動することができると思います。この富山高専での5年間を充実させるために、大きな夢を持って日々悔いなく過ごして欲しいと願っています。

射水キャンパス

国際ビジネス学科  
1年担任  
山本 有希



## 新入生の皆さんへ

ご入学おめでとうございます。入学式で教務主事の西先生が「5年間という時間は平等に与えられるが、5年後に手にする結果はそれぞれ違うはず」と言われましたが、皆さんはこれからの5年間をどのように過ごすのでしょうか？

おそらくそれぞれ抱えている夢があると思います。その夢は、まだはっきりとした輪郭を持たないかもしれませんが、5年間かけて、しっかりとしたかたちを作ってください。

勉強はもちろん、部活動やクラス活動を通じて大きく成長し、卒業する時には、自信を持って新たなスタートを切れるよう、充実した学生生活を送ってほしいと思います。私も担任として、精一杯皆さんのサポートをしていきたいと思っています。

射水キャンパス

商船学科  
1年担任  
山村 啓人



## いま、大海原へ

新入生の皆さんの希望に満ちた目を見てみると、こちら身が引き締まる思いがします。どうか、今もっている自分の「好きなこと」や「情熱」を大切にしてください。これだけは人に負けない、という自分の強みを育て、また、友達の個性も同じように尊重してください。みなさんはこれからの人生において、いくつかの試験などはあるかもしれませんが、その先には無限の可能性が広がっています。つまり、ゴールや限界は、他人や自分が設定しない限り存在しません。自分次第でいくらかでも好きなことができるのです。みなさんは今、その切符を手にしました。しかし、同時に、人生は有限です。時間を大切に、有意義な高専生活にしてください。

# 新入生の声

## Students' Voice!!



高専に  
入学して

機械システム  
工学科1年  
伊藤 衣里

私は今、富山高等専門学校で忙しくも充実した日々を送っています。中学校から比べると、1回の授業時間が90分と増え、新しく習う内容が多く、1度の授業解説では理解できないこともあるため、予習や復習のための学習時間を増やしました。それでもわからないことは、授業後に先生へ質問にいき、より丁寧に解説をしていただき、理解を深めています。また、高専入学と同時に親元を離れ、寮生活を始めました。優しくも厳しい先輩たちの指導の下、1年生の女子寮生達と共に助け合い、充実した日々を過ごしています。なかなか実家に帰省することができませんが、仲間との寮生活が楽しいので、寂しくなることはありません。まだまだ高専生活に慣れないことが多いですが、クラスや寮の仲間と協力し合いながら、がんばっていこうと思います。



今の自分を  
変える

電気制御システム  
工学科1年  
入江 郁也

私は中学生の頃、平日の勉強時間が0分～2時間で、不安定でした。高専では中学校のときより難しい内容を学ぶことになるため、入学が決まったとき、勉強についていけるか不安でした。そこで、毎日2時間の勉強時間を確保し、予習と復習の習慣をつけようと決心しました。その目標へ向かう一歩として、始業式のとき校長先生がおっしゃっていたことを実行しています。それは「やらなくてはならないことをメモしておく」ことです。宿題や予習・復習などのやるべきことをメモに残すようにしています。このことで、自分の置かれた状況を整理できるし、やるべきことを済ませたときに達成感を得ることができます。これを続けて行くことで、自分を高め、今の自分を変えていきたいと思っています。



高専に  
入って

物質化学工学科1年  
川邊 晴斗

入学当初は緊張という思いしかありませんでした。友達はあるか、授業についていけるかなど、いろいろな不安がありました。しかし、すぐに友達はできました。授業は最初こそ長くて疲れたものの、徐々に慣れていきました。週に1度ある実験はとても楽しく、高専に入ってよかったと思いました。研究者になるために高専に来たことを忘れず、これからも一生懸命勉強して様々な知識を身につけようと思います。有言不実行ではなく有言実行で、いろいろなことに挑戦し、失敗してもくじけずどんどん前に突き進みたいです。そして将来の夢を実現させます。

### 合同研修より



体験活動 (カッター)



体験活動 (アーチェリー)



体験活動 (篆刻)

文武両道



電子情報工学科1年  
駒井 宏至

私は、富山高専で陸上をして、エンジニアになりたいという気持ちを胸に入学しました。高専では文武両道に努めていると思っています。部活動ばかりに力を入れるのではなく、自分の将来の夢に向かって日々励んでいきたいと思えます。部活動では、全国高専大会入賞やインターハイ出場を目標としてがんばっていきたくです。1日でも早く先輩に追いつき、先輩を超えることができる選手になりたいです。勉強では、多くのことを学んでいくことになるので、一つひとつの授業を大切に、自分の学力を上げていきたいと思えます。また、充実した高専生活を送るために、仲間と切磋琢磨していきたいです。

高専に入学して



国際ビジネス学科1年  
筒井 乃彩

念願だった高専での生活は、毎日が楽しくとても充実しています。入学時は知り合いがないこともあり、緊張と不安でいっぱいでしたが、今ではたくさんの友人や先輩に囲まれています。ここ、富山高専には年齢はもちろん、地域や国籍まで様々な人が集まっており、日々刺激を受けています。グローバル化社会で活躍できる人間を目指す私にとって、異文化に触れられる機会が多いこの学校に入学でき、改めてよかったと思っています。この先、楽しいことばかりではなく壁にぶつかることもあると思いますが、高専で学ぶ5年間でこれからの人生へのステップアップになるよう努力していきたいです。

目指すこと



商船学科1年  
堀井 晴斗

僕はこの学校に入学して、感じたことがあります。それは、この学校は先輩たちがとても親切で親しみやすく、その雰囲気感動したことです。そして、校風も学生の主体性を重んじており、他の学校とはよい意味で違うなと感じました。僕の目標は、1年生で学生会長になることです。なぜなら、僕が上のように感じたことを、自分たちの手で守り、さらによくしていきたいと強く感じたからです。これは、達成することが難しいものかもしれませんが、しかし、いつか達成できるように、クラスの仕事を積極的にするなどし、同級生、他学年の人たちの信頼を少しずつ確実に積み上げて、目標に少しでも近づいていこうと思えます。



体験活動 (マイスプーン)



体験活動 (カヌー)



食堂



学科紹介 (商船学科)



体験活動 (ディスクゴルフ)

## 研究室より



本郷キャンパス

専攻科長

岡根 正樹



### 専攻科の 新カリキュラム に期待すること

専攻科は、今年度の入学生から、新カリキュラムとなっています。特に、エコデザイン工学専攻では、これまでの、機械・電気システム工学コース、機能材料工学コースという2コース制を撤廃したことで、より広範囲な内容の授業を選択できるようになりました。自分の専門と異なる分野の授業も、積極的に履修してください。カリキュラムは変わっても、目指すところは変わらず、課題の発見から議論、提案、発展、それらを解決して実質化するプロセス、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけます。科目選択の幅が広がった分、より多くの知識を身につけ、将来、創造的、複合的な視野を持った技術者／研究者として活躍することを願っています。

射水キャンパス

副専攻科長

阿蘇 司



### 何かを学ぶためには、 自分で体験する以上に いい方法はない

これは、アインシュタインの言葉です。また、「挫折を経験した事がない者は、何も新しい事に挑戦したことが無いということだ。」という名言も残っています。専攻科での学修の多くが特別研究に費やされている理由も此処にあります。講義だけでは得られない新しい事について、提案、実験、発表を行い、国内外の学会で研究者や企業の方々の評価を受ける。厳しい意見に挫折感を味わうこともあるでしょう。しかし、この体験の流れこそが社会での営みです。選択肢が多くて迷ったら、全部やってみればよいのです。学会、国際会議、企業・国際インターンシップなど、経験値を同期生と競い合って精進してください。

本郷キャンパス

エコデザイン  
工学専攻1年

松浦 高暁



### 専攻科で がんばりたいこと

私が専攻科への進学を決めた理由は、本科で5年間学習し身につけた知識をさらに深めたいと思ったからです。今年度から専攻科はコースが統一され、本科の3学科の出身者が同じ講義を受けることが可能になりました。これにより自分の専門分野の知識を深めることはもちろん、それ以外の幅広い分野の学習もできます。専攻科では問題解決に取り組む機会が多いため、実践的な経験とともに技術者としての能力を向上できます。特別研究は1年の時から始まり、卒業研究と合わせると3年間研究をすることになるので、じっくり時間をかけて研究を進めることができます。その他にも学外研究発表やインターンシップなど、学外で研鑽する機会も豊富です。このことを活かして理想の技術者を目指して努力していきたいと思ひます。

射水キャンパス

制御情報システム  
工学専攻1年

紅井 里緒菜



### 専攻科で力を 入れたいこと

私には専攻科で力を入れたいことが大きく分けて2つあります。1つは特別研究です。通常、本科の卒業研究と合わせて3年間続けて研究を行うことができます。今年度から特例適用となり学位認定が外部試験を受けにいかななくてもよいことになりました。本科5年次と比べて研究に費やせる時間が多くなり、より集中できる環境ができてよかったと思います。もう1つは異文化体験です。私は専攻科1年次の夏に英国北アイルランドでの海外インターンシップへ参加することを考えています。今まで一度も日本から出たことがないため、海外での1カ月は私にとって大きな経験となると思います。専攻科の2年間悔いのないように過ごし、人として成長したいです。



# 射水キャンパス新臨海実習場完成



新実習場と若潮丸

平成27年3月、本校の臨海実習場が射水市堀江地区に移転し、新しくなりました。



旧実習場と建設中のLNG船専用岸壁

北陸電力富山新港火力発電所石炭1号機をリプレースし、CO<sub>2</sub>排出量を大幅に低減できるLNG(液化天然ガス)を燃料とする発電設備が導入されるにあたり、今までの臨海実習場(堀岡地区)付近に約300mのLNGタンカーが入港することになりました。これにより若潮丸の出入港が困難になることから、移転となりました。

新臨海実習場には従来の施設の他、新たに救命艇実習が行えるボートダビット及び救命ボートが新しく設けられました。ポンド(船貯)も広くなりカッターや、さざなみ、わかしお3号などの小型艇もスムーズに出入りできます。



艇庫



ポンド(船貯)



臨海合宿所

また、臨海合宿所も新しくなり、3月末から4月上旬にはヨット部が春合宿を行いました。新築で綺麗なため快適な合宿が行えると学生にも好評です。

若潮丸乗船実習や海洋実習、カッターレースの拠点として新しく生まれ変わった臨海実習場へぜひみなさんも訪れてみてください。

## 外国人留学生から

射水キャンパス

電子情報工学科3年

ハリン  
ハブアーラッチ



私はスリランカ出身のハリンと申します。去年の4月に日本へ来て、1年間東京日本語教育センターで日本語を勉強していました。色々な国から来た留学生と一緒に日本語を勉強したのは楽しい思い出になりました。その後、今年4月に富山高等専門学校の電子情報工学科の3年生になりました。日本は電子情報分野で優れている国なので、日本でこの分野を学ぶことができるのは本当に大きなチャンスだと思っています。この機会を利用して、将来は電子情報分野で大学の先生になりたいと思っています。また勉強以外でも、友達をつくることと富山での生活に慣れることを楽しみにしています。よろしくお願ひします。

# 学生会活動

# Student Council

## 本郷キャンパス

### 学生会年間スケジュール

4月	第1回あいさつ運動 学生総会 対面式 クラブ活動紹介 評議会・委員会
5月	合同球技大会 第1回環境美化活動
6月	北陸地区高専体育大会壮行会
7月	北陸地区高専体育大会
8月	全国高専体育大会壮行会
9月	
10月	全国高専体育大会報告会 第2回あいさつ運動 ロボコン東海北陸地区大会応援
11月	高専祭(志峰祭) 第2回環境美化活動
12月	学生総会 学生会長選挙
1月	第3回あいさつ運動
2月	リーダー研修会 学生会誌発行



### 本郷キャンパス

学生主事

青山 晶子



## 難しいからこそやってみる

高専生の皆さんには、専門分野の知識や技能とともに、幅広い教養と行動力を兼ね備えたall-rounderを目指してほしいと思います。

高等教育機関での学びは「学問」、すなわち自らに問いかけ、試行錯誤して自分なりの答えを見つけることです。自分を磨くと同時に、他者に共感できる広い視野が必要です。専門分野以外の本も読みましょう。クラスの中やクラブや学生会などの課外活動にも積極的に参加し、様々な経験をしてください。自分や自分の世代だけのことだけでなく、周囲の人や後に続く人たちのためのことを考えることができるようになったら、それがall-rounderへの第一歩だと思います。「難しいからこそやってみる」という気概を身につけてもらえるよう、支え励ましていきたいと思っています。

### 本郷キャンパス

学生会長

高木 瞭



## 学びある学生会活動のために

学生会活動は絶対にやらなければならないことなのか。そう問われると、勉強とは異なり絶対にしなければならないことであるとはいえないでしょう。しかし、私は積極的に参加したほうがよいことであると自信を持って答えられます。それは球技大会や高専祭をはじめとした学生会が中心となり展開する活動の多くが、一人では成し遂げられないものであるためです。そしてその活動を通して、様々な考え方や価値観を持つ人、あるいは学年の異なる人と交流することから、学ぶべきことや新たな経験・発見があるはず。今年度の学生会執行部役員21名は、皆さんの学びある活動を主催するとともに、全力でそのサポートをしていきます。

### 平成27年度 学生会執行部 役員

役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス
会長	高木 瞭	4C	総務局局長	中盛 海斗	4M	会計局局長	能村 省吾	4C	体育局局長	浅野 伶奈	4M	文化局局長	網谷 達輝	4E	広報局局長	菅野 光祐	3E
副会長	山上 登夢	4C	総務局副局長	岩折 葵	3C	会計局副局長	布村 亮樹	3C	体育局副局長	深山友有治	3E	文化局副局長	開保津風馬	3M	広報局副局長	松坂 拓郎	2M
			補 佐	二宮 冬	2C	補 佐	岡崎 陽大	3M	補 佐	植松 信	2E	風紀局局長	中島 弥花	4C	補 佐	田島らい華	2E
			書記渉外	笹川奈津美	2C	補 佐	酢谷 晃太	3C				風紀局副局長	岩崎 祐里	3C	補 佐	佐々木勇希	2C

## 射水キャンパス

### 学生会年間スケジュール

4月	対面式 クラブ活動紹介
5月	評議会・委員会 合同球技大会
6月	服装等校門指導 海浜清掃
7月	北陸地区高専体育大会 校内カッターレース大会 七夕
8月	全国高専体育大会壮行会
10月	海浜清掃 ロボコン東海北陸地区大会応援 射水キャンパス球技大会
11月	校門指導
1月	学生会長選挙
2月	リーダー研修会 学生会誌発行 卒業生を送る会



#### 射水キャンパス

学生主事  
塚田 章



### 挑戦

射水キャンパス初の3年生の学生会長、伊藤君を中心に学生会がスタートしました。常に好奇心をもって現状に満足せず、新たなことに挑戦する学生会を目指しています。また、この時期5年生は各自の進路を決定するため必死に挑戦していることでしょう。新入生は期待と不安を抱きながら新たな高専生活に挑戦しています。

挑戦には失敗がつきものです。中には企業や大学から不合格の通知を受け、押しつぶされそうになっている人がいるかもしれません。また、学業成績や友人関係でうまくいかないこともあるでしょう。

人生は挑戦と失敗の繰り返しです。この繰り返しの中で人は成長するのです。一步前が出る勇氣を持ってください。そして失敗をバネにできる精神力を高専生活の中で身につけてください。

#### 射水キャンパス

学生会長  
伊藤 大樹



### 抱負

“Stay hungry, Stay foolish” これは常に新たなことに挑戦し続けた男の言葉である。新たなことに挑戦する以前に、現状を維持することさえ実は簡単ではない。「現状維持」＝「今までどおり」と勘違されがちであるが、それはまったくの見当違いである。学生会においても年度ごとで、要求されるものは違うし、なすべきこと、取り組むべき課題も違う。そうなるとやはり、今まで通りではなく、それをどう直面した現状に変えるかということになるだろう。さらに、その物事の本質をわかっていない限り、現状維持さえ困難になるだろう。常に好奇心をもって現状に満足しないことで、多方向から物事を潜考する考えの幅を持ち、過去の失敗に囚われず、世間一般の評価に信服されないよう、“Stay hungry, Stay foolish”な学生会として取り組んでいきたい。

#### 平成27年度 学生会執行部 役員

役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス
会長	伊藤 大樹	K3	会計	佐竹 一美	K4	美化委員長	今井 大志	I4	文化委員長	猪又 萌里	K4	生協委員長	菅 乃望子	K3	体育委員長	坂口 葵	K4
副会長	穂田 成美	K4	会計	奥村 夏樹	K4	美化副委員長	浦井 真由	K2	文化副委員長	高柳 健伸	S4	生協副委員長	波多野 世唯	K2	体育副委員長	池崎 悠希	S4
副会長	池田 真子	K4	総務委員長	寺崎 麻代	I4	交通委員長	水島 大地	I4	文化副委員長	吉田野 乃花	K2	風紀委員長	青山 翔蓮	I4	体育副委員長	丹保 りら	K3
書記	粉究 ひかり	I3	総務副委員長	高田 明莉	K3	交通副委員長	菅原 水月	S2	風紀副委員長	石塚 里志	K2	風紀副委員長	石塚 里志	K2	体育副委員長	中山 祥太	S3
書記	津幡 ひかり	K2	総務副委員長	瀬見井 佐和子	K3												

# 学生寮から

# School Dormitory

## 仰岳寮(本郷寮生会)

### 学生会年間スケジュール

4月	開寮(6日)・新入生オリエンテーション 新入寮生歓迎会(22日)・寮生会総会(30日)
5月	寮球技大会(7日) 学生寮避難訓練(26日)
6月	寮ボランティア活動(町内清掃)(18日)
7月	焼肉会(13日)
8月	部屋替え・寮内大清掃(11日) 閉寮(12日)
9月	開寮(30日)
10月	相撲大会(7日) 仮装行列(31日)
11月	高専祭(志峰祭)(7・8日)
12月	餅つき会(16日) 寮内大清掃(24日) 閉寮(25日)
1月	開寮(6日) 成人祝賀会(13日) 予餞会(20日) 寮議会(16日)
2月	寮内大清掃(23日) 1～3年生閉寮(25日)
3月	4・5年生、専攻科生閉寮(1日)



### 本郷キャンパス

寮務主事

高熊 哲也



## たかが下足整理、されど…

寮生諸君の協力のおかげで、各号館の下足の整理が非常によくになりました。一人一人が気をつけると、全体として規律が保たれることを示す事例だと思います。逆もよくあることで、「この程度のことならまあいいか」ということが蔓延すると、あっという間に悪い習慣が広がってしまうものです。

上級生から下級生への指導という形を取ることもあるでしょうけれど、それよりも美風が全体として保たれていることの方が大きいと考えます。上級生がちゃんと挨拶をすれば、下級生が怠るはずはありません。掃除が行き届いたところに、ゴミを散らかすようなことはできないものです。

自ら一人一人が大切だと思うことを実践していきましょう。そう、気づいた今から。

### 本郷キャンパス

機械システム  
工学科4年

瀬尾 基彦



## 仰岳寮の特色と新しい取り組み

寮の生活というのは、正直に言ってしまうと、寮則などの厳しい面が多々あります。しかし、その分楽しい面もあり、同学年はもちろんのこと、先輩との縦の関わりも多く、同じ部活動でない先輩とも仲良くなることもできます。寮行事も多種多彩で、相撲大会や球技大会、焼肉会などがあり、寮生活が充実した楽しいものになります。その他にも、勉強の分からないところは先輩に教えてもらうこともできますし、寮の生活は、集団生活ということもあり、挨拶といった社会に出て生かされる基本的なコミュニケーション能力なども身につけることもできます。このように寮生活は通生とは少し違ったとても貴重な経験ができるよい場だと思います。また、今年度の取り組みとして、寮行事の焼肉会の際に、学年ごとに企画を提案してもらい、その企画を各学年で実際に運営する仕組みを作るなど、寮行事を盛り上げていきたいと思っています。

### 平成27年度 寮生会役員

役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス
総代	瀬尾 基彦	4M	1号館寮長	濱谷華菜子	4C	3号館寮長	泉 寿享	4M	留学生責任者	ヒシゲ	4E	体育委員長	浦島 陽	3M
副総代	有磯 廉矢	3E	副寮長	坂東 郁花	3C	副寮長	武田 大樹	3M	総務委員長	坂東 郁花	3C	厚生委員長	水野 夏志	4E
			副寮長	木下 彩	2C	4号館寮長	山田 大貴	5E	会計委員長	濱谷華菜子	4C	規律委員長	山上 登夢	4C
			2号館寮長	瀬尾 基彦	4M	副寮長	江洲 文人	5E	文化委員長	中盛 海斗	4M			
			副寮長	有磯 廉矢	3E							ネットワーク 管理委員長	古市 俊也	4E
												選挙管理委員	能村 省吾	4C
												会計監査委員	泉 寿享	4M

## 和海寮(射水学寮会)

### 学生会年間スケジュール

4月	開寮 入寮式 新入寮生オリエンテーション・新入寮生歓迎会 学寮総会
5月	閉寮(1日)・開寮(6日)・防火訓練
6月	服装等校門指導
7月	花火大会・北陸地区高専体育大会(11・12日) カッターレース大会(16日) 商船学科3年大型練習船実習(7/21~8/20)
8月	閉寮(6日)
9月	開寮(23日)・部屋移動 商船学科卒業式(25日)
10月	商船学科4年大型練習船前期長期実習開始
11月	防災訓練・服装等校門指導・5年生激励会
12月	クリスマス会・閉寮(25日)
1月	開寮(6日)・学寮会長選挙(20日)
2月	閉寮(26日) 商船学科2年大型練習船実習(3/1~3/31)



#### 射水キャンパス

寮務主事  
梶 伸司



### 和海寮と人間力

高専の卒業生には、専門知識だけでなく、コミュニケーション能力やリーダーシップなどの社会人基礎力も求められます。企業などでは、寮での共同生活が社会人基礎力を身につける場としても有効であると認識されています。

和海寮では、寮生に社会人基礎力の重要性を認識してもらいます。低学年では、個人の自律と同時に清掃活動などの和海寮への貢献を、高学年では、学寮会活動への積極的な貢献を通して、より豊かな社会人基礎力を培ってほしいと考えています。

今年度は、学寮会を中心として寮運営への建設的な提案や新たな実践がある一方で、低学年の学生にも共同生活の意識の芽生えが見られ、たいへん頼もしく思っています。

#### 射水キャンパス

商船学科4年  
笹谷 泰二



### 和海寮の新たな一歩

今年度は男子29名、女子28名、計57名の新1年生が和海寮に入寮しました。今年から男子寮では全学年が2寮棟に入り、全部屋1人部屋となりました。さらに、昨年度と今年度では寮のルールがたくさん変わっています。今年度行っている工夫として、1年生に対して2年生の班長がつき指導していく体制を導入して、自分自身とてもうまくいっていると実感しています。このほかにも、週末の当直が誰かわかりやすいように、部屋のドアに札を貼ったり、部屋の鍵しめを徹底していくために、鍵しめ状況を掲示板に掲載したりと様々な工夫をしています。ルールが変わったため、上手くいかないことが多々ありますが、試行錯誤しながら、今後活動をしていきたいと思っています。

#### 平成27年度 学寮会役員

役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス	役職	氏名	クラス
学寮会長	笹谷 泰二	S4	環境委員長	高柳 健伸	S4	企画委員長	室田 真耶	K4	選挙管理委員長	上島 元	I4	IT管理委員長	青山 翔蓮	I4	低学年指導員	佐藤 俊哉	S3
副寮長	青山 翔蓮	I4	委員	井波 結矢	S3	委員	永井 奏衣	K3	委員	木村 紫乃	I4	委員	木村 紫乃	I4	委員	坂西 和也	S3
副兼女子寮長	橋本愛守可	I4	委員	八木 健太	K4	委員	中山 祥太	S3	委員	若宮 翔	S3	委員	谷野 文哉	I3	委員	角川 彩斗	S2
風紀委員長	奥村 夏輝	K4	会計委員長	中道 結実	S4	庶務委員長	舟川 恵梨佳	K4	委員	前 美羽音	S3	委員	粉突 ひかり	I3	委員	花堂 太気	S2
委員	八木 健太	K4				放送委員長	藤島 政樹	I4	委員	河上 綺子	K2	文集委員長	平井 那奈	K4	委員	岡本 凌河	S2
						委員	菊田 礼登	I4	委員	角川 彩斗	S2	好707後援員	巻 美咲	I3	委員	上田 啓太	K2
												好707後援員			委員	丹羽 庸	S2

# 新任教員紹介

## New Teachers



物質化学工学科 助教  
**迫野 奈緒美**

本郷キャンパス

10月1日に着任いたしました。専門は物理化学です。これまでの経験を活かし、学生の選択肢を広げる一助となればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



物質化学工学科 准教授  
**篠崎 由紀子**

本郷キャンパス

専門は応用微生物学です。昨年までは、茨城県つくば市にある農業環境技術研究所で、環境保全のために役に立つ微生物の研究を行っていました。どうぞよろしくお願いいたします。



一般教養科 助教  
**横山 恭子**

本郷キャンパス

今年度より本郷キャンパスの歴史の授業を担当することになりました。専門の近世日朝関係史や韓国留学経験を活かし、将来学生さんが地元富山はもちろん、世界で活躍できるよう、お手伝いしたいと思います。どうかよろしくお願いいたします。



機械システム工学科 准教授  
**浅地 豊久**

本郷キャンパス

専門はプラズマ工学ですが、もともと企業で設備開発を担当しておりましたので、機械系、電気系何でもやります。また、富山県出身者として、地元の発展にも貢献していきたいと思っております。



練習船若潮丸船長 准教授  
**中川 宏司**

射水キャンパス

前職はNTTをメインとした海底ケーブルの設計、敷設、メンテナンス業務を約40年間行ってきました。教員という仕事は初めてですが、皆さんとの出会いを大切に、また何かお役に立てればと思っています。よろしくお願いいたします。

## 学級担任一覧

### 本郷キャンパス

	機械システム工学科	電気制御システム工学科	物質化学工学科	学年主任
第1学年(担任/副担任)	仁木 康浩 坂本 佳紀	長谷川 貴之 池田 英俊	小川 典子 中島 栄次	津森 展子
第2学年(担任/副担任)	橋本 伊都子 高橋 勝彦	山腰 等 石田 文彦	宮崎 真矢 川淵 浩之	山腰 等
第3学年	白川 英観	古川 裕人	森田 康文	
第4学年	豊嶋 剛司	百生 登	峰本 康正	
第5学年	佐瀬 直樹	櫻井 豊	安田 賢生	
3, 4, 5学年補佐	井上 誠	金子 慎一郎	後藤 道理	

### 射水キャンパス

	電子情報工学科	国際ビジネス学科	商船学科	学年主任	学年補佐
第1学年(担任/副担任)	大橋 千里 門村英城	山本 有希 塩見浩介	山村 啓人 見上 博	河合 均	
第2学年(担任/副担任)	櫻井 秀人	清水 真	寺崎 由紀子 八賀 正司	寺崎 由紀子	
第3学年	篠川 敏行	村山 雅子	○笹谷 敬二		星野 朱美
第4学年	○秋口 俊輔	宮崎 衣澄	西井 典子		星野 朱美
第5学年	椎名 徹	○岡本 勝規	真岩 一幸		星野 朱美
実習生			河合 雅司		
○学年代表					

専攻科	制御情報システム工学専攻	国際ビジネス学専攻	海事システム工学専攻
	古山 彰一	畠山 俊宏	山本 桂一郎

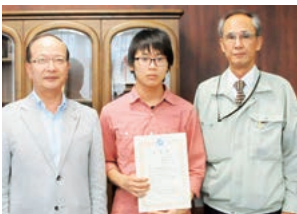
このたび高専制度創設50周年を迎え、新たな次の50年への一歩を踏み出すにあたり、平成27年10月5日(月)にオーバード・ホールにおいて記念式典・講演・祝賀会を行います。講演会は脳科学者の茂木健一郎先生をお迎えして行う予定です。また本事業では記念式典以外にも、学生の教育環境の充実や外国語教育の推進にも力を入れます。本記念事業を通し、本校と皆様方との絆をより一層強いものにしていきたくと祈念しております。皆様には、記念事業の趣旨にご賛同いただき、何卒、格別のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## Toyama Kosen News & Topics

### ニュース&トピックス

富山高専ホームページTopicsもご覧ください。  
(<http://www.nc-toyama.ac.jp/>)

### メタンハイドレート採掘 技術アイデアコンテストで 高校生部門最優秀賞



海洋エネルギー資源開発促進日本海連合が主催する「メタンハイドレート採掘技術アイデアコンテスト」において、商船学科4年(受賞時3年生)の古賀寛人さんが「膜構造によるメタン回収方法」で高校生部門の最優秀賞を受賞いたしました。

このコンテストは近年環境負荷の少ないエネルギー資源として注目されているメタンハイドレート、特に日本海側に多く存在する表層型ハイドレートの採掘技術について競うものです。本アイデアの斬新な点は断熱膜を使ったメタンガスの捕集方法や海底に蓋をし、ハイドレート層の崩壊を防ぐ手法を提起したことです。これらの点が大きく評価され、最優秀賞を受賞することができました。

### 日本海事広報協会 会長賞を受賞



日本海事広報協会が主催する「2014年度ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」において、商船学科3年(3月の表彰時には2年生)の竹内めぐみ・中原嶺太郎の両名が、日本海事広報協会会長賞を受賞しました。このコンテストは、「船」「港」「海運」をテーマとした新聞を作成し、出来栄を競うものです。竹内・中原の作品「The Crew and Their Spirits for Cutter ~カッターの起源、そして歩み...」は高校生部門最高賞を獲得することができました。カッターが商船教育に長年取り入れられてきた意味を明らかにしようと、さまざまな文献や歴史的事実をたねんに調べた成果です。当校でカッター指導を担当している、金山恵美技術専門職員(当校航海学科卒業生)や他高校教員にインタビューするなど、自分達の五感と手足をよく使い、非常に頑張っており、自分たちの思いをまとめあげました。

### シーケンス制御技能検定 試験3級に合格

シーケンス制御技能検定試験において、本校の電気制御システム工学科の学生12名が3級に合格し、5月12日に校長先生から認定証書が

手渡されました。3級の合格者は次の通りです。電気制御システム工学科4年: 寛田遼生、永井恒輝、時長剛志、滝浪駿、黒田真央、網谷達輝、飯坂晋平、谷川祐貴、金森ほなみ、竹中洋貴、電気制御システム工学科5年: 遠山敬史、山田大貴

シーケンスとは「連続」や「順序」という意味です。機械を規則正しく動かしたいときにこのシーケンス制御が用いられます。身近なものではエレベータや信号機、自動販売機や全自動洗濯機などにシーケンス制御が用いられています。また工場などの自動生産装置にもこのシーケンス制御が多く用いられています。



### 全日本製造業コマ大戦 とやま特別場所で3位入賞

「全日本製造業コマ大戦 とやま特別場所」が平成27年4月25日(土)に富山市南総合公園体育文化センターで開催され、富山県内の企業や教育・研究機関から参加の48チームによる予選リーグ戦とリーグ優勝チームによる決勝トーナメントが行われました。本校からは機械システム工学科4年生の「富山高専モンスタースピズ」と機械工学科卒業生が参加しました。

ルールはコマの直径が20mm以下というだけで、材料や構造などまったくの自由です。そのため、各



チーム、様々なアイデアや高度な技術の粋を集約したコマを製作し、自社の名譽とエンジニアとしての誇りをかけた熱い戦いを繰り広げました。その結果、本校参加チームは企業や大学等を相手に好成績をあげ、「富山高専モンスタースピズ」が予選Cリーグ1位で決勝戦へ進出し、決勝3位の栄冠を得ました。「富山高専FLY」も予選Gリーグ2位と大健闘しました。表彰式では、「さすが高専!」と大賞賛をいただきました。

### 日本原子力学会学生 フェロー賞を受賞



昨年度、専攻科エコデザイン工学専攻に在籍していた松井大樹君が、日本原子力学会の募集した平成26年度学生フェロー賞を受賞いたしました。高専生としては唯一人の受賞です。富山高専では昨年度も林翔太君が受賞しており、2年続けての受賞となりました。松井君は4月からは国立大学大学院に進学し、さらに勉学・研究に励んでおります。

## Editor's room

編集後記

梅雨明けも間近な今日この頃、日差しも日増しに強くなり本格的な2015年の夏がやってきます。学生たちは夏休みの計画に余念がありませんが、その前にある期末テストが悩みの種といったところでしょうか。今回は、新入生を迎えて活気づくキャンパスを学生会や寮、専攻科の活動を通して発信して

みました。また、特集記事として新築された臨海実習場について報告しています。News & Topicsでは、さまざまなコンテンツに挑戦して、入賞した学生を掲載しました。これから何かにチャレンジしようと思っている学生諸君、次に載るのはあなたです。 高専通信14号編集長 津森 展子

問い合わせ先

本郷キャンパス : ☎939-8630 富山県富山市本郷町13番地 TEL 076-493-5402  
射水キャンパス : ☎933-0293 富山県射水市海老江練合1番2 TEL 0766-86-5100

<http://www.nc-toyama.ac.jp/>



富山高等専門学校

# OPEN CAMPUS 夏季オープンキャンパス 2015

## 夢みる力をつくる力へ

### 本郷キャンパス

8月8日(土)・9日(日)

午前の部 9:00~11:40、午後の部 13:00~15:40

### 射水キャンパス

8月7日(金)・8日(土)・9日(日)

9:00~11:30

## OPEN CLASS オープンクラス概要

参加希望者は全日程にわたって異なったコースを申し込むことができます。

#### 本郷 機械システム工学科

- コース1 巨大ロボットの作り方~巨大ロボットは大地に立つか?~
- コース2 『体験!! 3次元CAD』~コンピュータでものづくり~
- コース3 機械工学おもしろ記録会【卵を守れ】
- コース4 3Dプリンターでものづくり体験

#### 本郷 電気制御システム工学科

- コース5 人型2足歩行ロボットを自由自在に動かそう
- コース6 カメラを使ってロボットを自由自在に動かそう
- コース7 雷センサーをつくろう

#### 本郷 物質化学工学科

- コース8 良い香りのする物質をつくりたい~私にもできるぞ! 有機化学実験~
- コース9 食品のゴミから水をきれいに? 世界の水問題に化学の力でチャレンジ!

#### 射水 電子情報工学科

- コース10 『スマホアプリって自分で作れるの?』
- コース11 ロボットの頭脳とは~LEGOを使ったプログラミング実験~
- コース12 はじめての電子工作
- コース13 モバイル端末で遠隔操作しよう

#### 射水 国際ビジネス学科

- コース14 異文化について学ぼう

#### 射水 商船学科

- コース15 若潮丸体験航海と航海士、機関士の仕事の実験
- コース16 船長・航海士と機関長・機関士の仕事を知る

#### 射水 一般教養科

- コース17 English for International Communication (国際コミュニケーションのための英語)
- コース18 英語の発音入門~カタカナ英語からの脱却を目指そう!~
- コース19 国語の教科書を読みなおす



申込・お問い合わせ

#### 本郷キャンパス学務課

TEL 076-493-5498 FAX 076-493-5488  
E-mail:gaku@nc-toyama.ac.jp

#### 射水キャンパス学生課

TEL 0766-86-5145 FAX 0766-86-5130  
E-mail:nyushi@nc-toyama.ac.jp

## School Calendar 学年暦

月	本 科	専 攻 科	学外行事
4	入学式 新入生オリエンテーション 定期健康診断	始業式 前学期授業開始 定期健康診断	
5	1年生合宿研修 合同球技大会	交通安全講習会 合同球技大会	
6	前学期中間試験	学力入試(前期日程)・社会人特別選抜	北陸地区高専体育大会(6・7月)
7	前学期末試験(7・8月) 保護者懇談会(本郷)	カッターレース(射水)	全国商船高専漕艇大会
8	夏季休業(8・9月) 夏季オープンキャンパス	インターンシップ(8・9月)	全国高専体育大会
9	卒業式(商船学科)	保護者懇談会(射水)	
10	後学期授業開始 校内球技大会(射水) 県内工場見学(3年生) 消防訓練	50周年式典 日帰り研修(2年生)	修了式(海事システム工学専攻) 後学期授業開始 入学式(海事システム工学専攻) 校内球技大会(射水) 学力入試(後期日程)
11	高専祭(志峰祭) 後学期中間試験(11・12月) 秋季オープンキャンパス	企業研究会	ロボットコンテスト(全国大会) デザインコンペティション(全国大会)
12	冬季休業(12・1月)		
1	学習到達度試験(3年生)	推薦入試	英語プレゼンテーションコンテスト(全国大会)
2	後学期末試験 卒業研究発表会 リーダー研修会	学力入試 終業式	
3	卒業式(機械システム工学科・電気制御システム工学科・物質化学工学科・電子情報工学科・国際ビジネス学科)	修了式(エコデザイン工学専攻・制御情報システム工学専攻・国際ビジネス学専攻)	

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

